



あいち朝日遺跡ミュージアムの今を伝える情報誌【季刊誌】

朝日遺跡だより

朝日遺跡マスコットキャラクター
「アカ」と「クロ」

2026年3月

vol.20

企画展

あいちの発掘調査 2025



シリーズ／発掘ファイルNo.4「水との戦い」
ミュージアム再発見「銅鐸形土製品」
ミュージアムの草花お花実ガイド／4～6月
弥生ムラづくりプロジェクトレポート
／「大人のための弥生土器づくり講座」

学芸員がお答えするQ&Aコーナー
／織田信長の時代にも貝殻山、朝日遺跡はありましたか？
ミュージアムグッズ紹介／金銅製帯金具ストラップ
弥生ムラぐらし進行中／「アングイン編み」

企画展 「あいちの発掘調査2025」

期間 2026年1月17日(土)～3月8日(日) 場所 あいち朝日遺跡ミュージアム本館・企画展示室・基本展示室2

主旨

愛知県内では、毎年多くの遺跡で県や市町村等による発掘調査が行われており、貴重な発見が相次いでいます。毎年冬の企画展では、そうした県内各地で実施された最新の発掘調査による出土品や調査成果を展示するとともに、学識経験者を招いた講演会・研究発表や、展示で紹介する遺跡の調査担当者による成果報告会などを開催し、県内の考古学の最新情報を分かりやすくお伝えしており、今回で4回目となりました。

本企画展の見どころ・ポイント

- 朝日遺跡をはじめ県内各地の遺跡の発掘調査を実施している公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センター(弥富市)の協力を得て展示。
- 県内各地で行われた最新の発掘調査の中から、森後町遺跡(名古屋市熱田区)、青塚古墳(幸田町)、エベス塚古墳(西尾市)、青山神明遺跡・青山金剛遺跡(豊山町)、史跡小牧山(小牧市)、西二葉町遺跡(名古屋市中東区)の6遺跡を取り上げて展示。
- 会期中に開催した講演会・研究発表「海の考古学 伊勢湾・三河湾岸をめぐる新たな視点」に関連して、朝日遺跡から出土した漁労具など海に関連した出土品を展示。



森後町遺跡をはじめとした6遺跡の調査成果について

今回の企画展では2024年度に愛知県内で実施された発掘調査のなかで大きな成果があった6遺跡と朝日遺跡の出土品の計114点を展示しました。

森後町遺跡は名古屋市中東区にある弥生時代から江戸時代にかけての遺跡です。今回は遺跡の中心となる弥生時代後期の方形周溝墓から出土した遺物を中心に展示しました。周溝からは、円窓付土器・赤彩土器などの弥生土器や銅鐸形土製品などが大量に出土しました。特に注目されるのは、弥生時代中期に多く出土する円窓付土器が後期の方形周溝墓から出土していることで、謎の多い円窓付土器の使用方法を考える上で重要になる遺跡です。

青塚古墳は幸田町にある5世紀後半から6世紀初頭に造られた前方後円墳です。調査の結果、遺体を安置する石室が、竪穴系横口式石室であることが明らかになりました。この形の石室は、初期の横穴式石室にみられる形で、副葬品の金銅製帯金具とともに、被葬者がヤマト

政権や大陸とつながりのある人物であったことを想定させます。

エベス塚古墳は西尾市佐久島にある円墳で、佐久石を使用して造られた横穴式石室から、石棺と須恵器・鉄製品が見つかりました。佐久島の最古で最大規模の古墳であることが判明しました。

小牧山は小牧市にある戦国時代の城館跡です。発掘調査は、大手道の史跡整備に先立ち、大手道の構造や山側法面の状況を明らかにするため実施されました。調査の結果、大規模な造成を行い、幅広い平坦面を作り出していることが判明しました。

青山神明遺跡および青山金剛遺跡は豊山町にある縄文時代から近代にかけての遺跡です。弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代、鎌倉・室町時代、戦国時代以降の各時代の遺構・遺物が見つかり、特に注目される遺物として、鎌倉・室町時代の掘立柱建物跡の柱穴からまとまって出土した東濃型小皿・陶丸と、大型土坑からほぼ完全な状態で

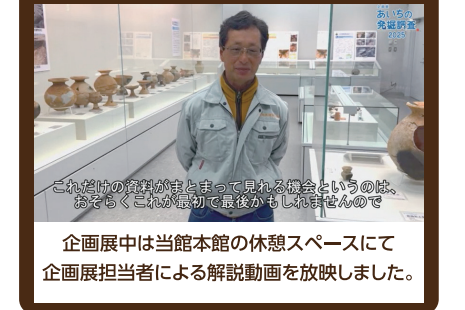
出土した古瀬戸四耳壺があげられます。

西二葉町遺跡は名古屋市中東区にある県立明和高校周辺の江戸時代から近代にかけての遺跡です。ここは江戸時代、成瀬隼人正の中屋敷があった場所で、明治時代以降は愛知一中をはじめ継続して学校用地として使用されてきました。各時代の遺構・遺物が良好な状態で発見されました。

最新の調査成果を通して多くの人々が考古学に興味関心を持ってもらえれば幸いです。

(宇佐見守)

企画展の解説動画を放映しました



企画展開催中に開催したイベント

講演会・講座

企画展をより楽しめる講演会や講座を開催しました。

講演会・研究発表会

「海の考古学—伊勢湾・三河湾岸をめぐる新たな視点—」

開催日 2026年2月7日(土)

講師 海部 陽介氏(東京大学総合研究博物館教授)
増山 禎之氏(田原市教育委員会学芸員)
原田 幹(あいち朝日遺跡ミュージアム館長)
浅岡 優氏(西尾市教育委員会主査・学芸員)

講座ヒストリーカフェ

「発掘調査のやり方教えます—旧石器時代篇—」

開催日 2026年2月21日(土)

講師 宇佐見 守(あいち朝日遺跡ミュージアム 学芸員)

報告会

発掘調査最新成果報告会Ⅰ「弥生集落と古墳」

開催日 2026年3月1日(日)

講師 大岡 由記子氏(名古屋市教育局)
稲垣 彩乃氏(幸田町教育委員会)
浅岡 優氏(西尾市教育委員会主査・学芸員)

報告会

発掘調査最新成果報告会Ⅱ 「古代以降の集落・城・屋敷・学校」

開催日 2026年3月7日(土)

講師 鈴木 正貴氏(愛知県埋蔵文化財センター)
田中 芳樹氏(小牧市教育委員会)
川添 和暁氏(愛知県埋蔵文化財センター)

開催予定のイベント

古代体験プログラム

火起こし体験、カラフル勾玉づくりに加え、月替わりで開催の土日祝限定メニューです。(写真は作例) 詳細は公式webサイトをご覧ください

磨製石器づくり

矢の先に取り付けられた石器「鏃^{やじり}」を自分で磨いて作ります。作った鏃で石器のペンダントを作りましょう。

4月 [時間] 15:00～(約45分)
[教材費] 50円
各回先着 10名
※レンガを使って石を削ります。小さなお子様は保護者の方とご参加ください。

土器文様タイルづくり

弥生土器をよく観察すると、とても細やかに文様が施されています。弥生時代のおしゃれをタイルにしてみましょう。

5月 [時間] 15:00～(約30分)
[教材費] 350円
各回先着 10名

勾玉・土玉づくり

オープン陶土を使って勾玉・土玉を作ります。ベンガラで色を付けて自分だけの宝物を作りましょう。

6月 [時間] 15:00～(約45分)
[教材費] 350円
各回先着 10名



朝日遺跡の発掘調査から考古学研究のターニングポイントとなった朝日遺跡の発掘調査出土品について紹介します。

| File No.4 |

水との戦い

長年にわたる朝日遺跡の調査において、最大の困難は「水との戦い」でした。遺跡が位置する濃尾平野は河川が形成した低湿地であり、遺跡周辺の標高は現在でも3~5mと極めて低くなっています。発掘調査では、少し掘り下げるだけで地下水がとめどなく湧き出してしまいます。

この地下水は発掘調査を阻む大きな壁となりました。油断すれば調査区はすぐに池のようになり、遺構の詳細な観察を妨げるだけでなく、砂質の土は崩れやすく遺構や遺物の出土状態を長く保つことはできません。足元も不安定で、安全上の問題も常に付きまとったのです。初期の発掘調査では、泥水の中を手探りで遺物をさらうようなこともあったそうです。

こうした環境に対し、様々な水対策が行われてきました。地下水位が下がる冬季を中心に調査を行い、水中ポンプでの排水を徹底しました。そして、1970年代後半からは、ウェルポイントという細い管を周囲に何本も打ち込み、地下水を強制的に吸い上げる方法が導入されました、これにより地下水位が大きく下がり、調査効率は劇的に向上しました。

また、2000年代以降は、狭い調査区の壁を安定させるために矢板を打ち込むなど、より安全で精密な調査環境が整えられていきました。

このように朝日遺跡の発掘調査は水との戦いでしたが、この厄介な水こそが、朝日遺跡が日本屈指の遺跡となった要因で

もあります。地下が水で満たされ酸素が遮断されたことで、本来なら腐ってしまう木製品や植物の種子が、奇跡的な状態で現代まで残されました。

重要文化財に指定された美しい土器や、生々しい姿を見せた逆茂木などの防御施設の発見も、まさに豊富な地下水という自然の恩恵があったからに他なりません。

(原田幹)



木製鋤の出土状況
(愛知県埋蔵文化財センター提供)



木製品の出土状況
(愛知県埋蔵文化財センター提供)



水が湧き出ている発掘調査

改めて知ると朝日遺跡のことがもっと好きになる?!

ミュージアム再発見

あいち朝日遺跡ミュージアムのスタッフが改めてみなさまに見てほしい注目スポットを紹介します。

今回は
どうたくがたどせいひん
銅鐸形土製品

銅鐸形土製品は、ミュージアムの基本展示室2に展示されています。展示室の中央には銅鐸が存在感を放っていますが、その隣の展示ケースの中にある小さな土製の銅鐸が私の推しです。銅鐸は、豊稔を祈る農耕祭祀に用いられた祭器だと考えられています。そこで、貴重な青銅は高価で手に入れることが困難であった人が、土で代わりを作り、身近に祀っていたのではないのでしょうか。弥生時代の人々は、土製の小さな銅鐸にどんな祈りを込めていたのでしょうか? 村の繁栄? 銅鐸の鑄造がうまくいくように? それとも個人的な願い事? 弥生人の生活事情・願い事について想像がふくらみます。

(面田京子)



銅鐸形土製品:朝日遺跡
(重要文化財 土器・土製品 弥生時代後期)

知っておくと便利!
役立つことば

方形周溝墓

ほうけいしゅうこうぼ

弥生時代に築かれた墓の一種です。1964年東京都八王子市の宇津木遺跡で最初に確認されました。墓の周りに溝が方形にめぐっています。溝で囲まれた中には本来低い盛土があり、そこに埋葬主体があります。溝は四隅が切れるもの、一部の角が切れるもの、全周するものなど時期や地域により形態が変化します。弥生時代前期末に近畿地方で発生して伊勢湾岸へ及び、中期以降に急速に東方へ伝播します。朝日遺跡では今まで300基以上みつかっています。一辺が30m以上のものもあり、弥生時代中期としては全国でも最大級の規模です。

(宇佐見守)

ミュージアムの草花お花実ガイド 4~6月

あいち朝日遺跡ミュージアムを楽しむなら
季節ごとに移り変わる植栽・草花にも注目して屋外史跡も見てみよう!



春から初夏にかけては、園内のあちこちで様々な花や実を見ることができ、年間でもっともにぎやかな時期となります。



4月頃

カラスノエンドウ(鳥の豌豆・マメ科)

本州から沖縄まで、市街地でもごく普通に見られる野草です。つる性で豆殻から種子を取り出して、笛のように音を出して遊ぶことから「ピーピー草」の別名もあります。園内でも、田起こし前の水田や雑穀畑、植栽の下、園路沿いなどいたるところに花を咲かせています。



5月頃

ヒラドツツジ(平戸躑躅・ツツジ科)

名前の由来となった長崎県の平戸は、古くから交通の要衝として栄えたことから、各地のツツジが持ち込まれ、改良されたようです。花が大きくて美しいことから、公園等に多く植栽されています。園内では、西側の道路沿いに植込みがあり、大型連休の頃から咲き始めます。



6月頃

ヤマモモ(山桃・ヤマモモ科)

関東以南の本州、四国、九州、沖縄等の山地等に自生していますが、公園や街路樹、庭木の植栽にもよく用いられます。果実は、生食のほか、果実酒、ジャム等にも加工され、食用に改良された品種もあります。園内では、交流館の西に1樹のみ植栽があり、毎年多くの実を付けます。



YMPレポート

2025年
12/20



体験水田をとおして、弥生時代を体験する「弥生ムラづくりプロジェクト」。今回は、大人のための弥生土器づくり講座等を行いました。

大人のための 弥生土器づくり講座

実際に朝日遺跡で出土した土器を観察し、世界に1つだけのオリジナルな土器づくりに挑戦しました。皆さん、土器を薄く作ることが難しかったようです。出来上がった土器は「土器焼き」の日まで乾燥させました。



2026年
1/31

土器焼き



作成した土器を並べ、覆い焼きを行いました。火起こし器で火種を作ることにも成功し、点火の瞬間は、特に大盛り上がりきれいに焼き上がった自作の土器が手元に行きわたると、皆さん感激され大事に持ち帰られました。

2026年
2/15

土器炊飯



YMPで今年度、収穫したお米(赤米・緑米・あいちのかおり)を土器で炊きました。同時に、西尾市教育委員会の浅岡優氏を講師としてお招きし、製塩講座を開催。貴重な体験ができたという好評でした。

YMP 年間予定

田起こし

田植え

いきもの観察会

石包丁づくり

収穫

脱穀

土器づくり

土器焼き

土器炊飯

今回はココ

弥生ムラづくりプロジェクトではみんなで田起こしから土器炊飯まで弥生時代の稲作体験に取り組んでいます。

おもてなしムラ人が活躍中

おもてなしムラ人 活動まろく

ボランティア「おもてなしムラ人」の活動をご報告します。

2025年
12/13

雑穀の脱穀・糲摺り

交流館前の畑で採取した雑穀の脱穀・糲摺りを行いました。粒が細かいので、1本から想像以上の量が採れます。



2026年
1/31

稲の糲摺り



2月に開催する「土器炊飯」に向けて、脱穀した稲の糲摺りを行いました。

2026年
2/28

「弥生月間」準備



「朝日遺跡弥生月間」で開催する復元竪穴住居の内部公開に向けて研修しました。ムラ人の皆さんも興味津々。

ボランティア(おもてなしムラ人)に興味がある人はお気軽にスタッフまでお声がけください。

あいち朝日遺跡ミュージアムの取り組み

当館の 様々な取り組み事例紹介

施設外でのPR活動やキャンペーン等の実績から一部をご紹介します。

2025年
12/20

第6回 kid's考古学新聞コンクール



毎年恒例となったkids考古学新聞コンクール(制作・運営:特定非営利活動法人むきぼんだ応援団)受賞作品の紹介。全国の小学生が興味をもって調べたレポートの受賞作を一挙公開。縄文時代から古墳時代まで幅広く、力作ぞろい。将来がたのしみです!

2026年
2/8

お菓子作りで楽しむ朝日遺跡



地元清須市の和菓子職人渡辺康子さん(御菓子処わたなべ)を講師に迎えて勾玉や朝日遺跡キャラクターのアカ等をねりきりで作る講座。職人の技を直接見たり、やさしくおしえてもらえる特別な体験に参加者の皆さんも大満足でした。

上記のほか様々な施設間の連携をおこなっています。当館と施設連携ご希望の方はお気軽にご相談ください。



インクルーシブな ミュージアムをめざして...

テーマ:誰もが楽しみながら知識を得られる博物館

※「インクルーシブ(inclusive)」は、「包摂(ほうせつ)的」「包括的」「すべてを包み込む」を意味することばです。

当館は、目の不自由な方でも楽しんでいただける博物館を目指しています。ハンズオン展示の展示室キッズ考古ラボでは出土品と同じ材質・同じ大きさで精巧に復元された木製品や2000年前の弥生人が実際に使用した石器や土器片等を手に取ってご覧いただけます。視覚障がいの方々の団体の対応も実績がありますので、ご希望がございましたらお気軽にご相談ください。



ミュージアムグッズ

金銅製帯金具ストラップ / 1,000円



企画展「あいちの発掘調査2025」の展示からグッズ化された青塚古墳(幸田町)の金銅製帯金具。全国的にも出土例の少ない籠の透かし彫りが施された古墳時代の副葬品として注目される商品となりました。

学芸員がお答えする弥生のQ&Aコーナー

日々、ミュージアムでいただく「質問カード」に学芸員が回答し館内で随時掲示しています。その中から「これは!」という質問をピックアップして解説するコーナーです。(皆さんもぜひ当館を閲覧して質問カードを書いてくださいね。)

答える人

あいち朝日遺跡
ミュージアム
館長 原田幹



Q 織田信長の時代にも貝殻山、朝日遺跡はありましたか?

A 織田信長や豊臣秀吉らが活躍した戦国時代(15世紀後半~16世紀)と朝日遺跡が集落として栄えた弥生時代前期から古墳時代前期(紀元前5世紀~4世紀前半)の間には、およそ1200年もの長い年月が経っていました。

弥生時代の朝日遺跡は、すぐ近くまで遠浅の海が迫る砂堆(微高地)の上に集落が営まれていました。しかし古墳時代以降、川の氾濫などによって一帯は湿地化し、遺跡の大半は土の中に深く埋もれていきました。朝日遺跡の発掘調査では、戦国~江戸時代の遺構は墓坑や少量の陶器片が見つかる程度

で、当時この場所は人がほとんど住まない土地だったようです。それでも、もともと数メートルの高まりであった「貝殻山」は、当時もその姿を風景の中に留めていたと思われます。

ところで、朝日遺跡のすぐ西には信長ゆかりの「清洲城」がありました。実は、最も西側の発掘調査区では、弥生時代のお墓(方形周溝墓)の一部が、清洲城の外堀によって壊された状態で見つかっています。朝日遺跡と清洲城は、空間的にも一部が重なっていたのです。

城の普請に従事した人々も、作業中に偶然弥生時代の土器や石器を掘り当てて、何だろうと不思議に思っていた

かもしれません。異なる時代の人々の営みが同じ場所で交差していたと思うと、この地域の歴史の厚みを感じますね。(原田幹)



清洲城の外堀で壊された方形周溝墓(愛知県埋蔵文化財センター提供)



セットでまわると理解が深まる&お値打ち!

共通券がお得です

清洲城の歴史、または古墳時代など連携施設とセットで巡れば学びも2倍。年パスもオススメ!

Common admission ticket

2025.04~

清洲城

一般 550円



織田信長の居城として有名な、清洲城。歴史好きな方は清須の史跡として朝日遺跡と清洲城をセットで巡るのもオススメです。

☎052-409-7330
愛知県清須市朝日城屋敷1-1

体感!しだみ古墳群ミュージアム

一般 400円 / 高大 300円



国史跡・志段味古墳群を紹介するミュージアム。この地域の歴史を学ぶなら朝日遺跡とセットで古墳時代の史跡もめぐってみよう。

☎052-739-0520
名古屋守山区大字上志段味字前山1367

あいち朝日遺跡ミュージアム 年間パスポート

講演会やイベント等で当館に何度も来館される方ならかなりお得です!

一般 1,000円 / 高大 600円

希望者には、おしらせメールも配信しています。さらに高大生は年パスキャンペーンを実施中!



ここから企画が実現する?! スタッフによる 弥生ムラぐらし 進行中

作業の様子を
ご覧いただけます!



弥生人の生活を想像して、いろいろなことにスタッフが挑戦する企画。うまくいけばみんなと一緒に楽しめる企画として実現するかも?!皆さんが知っている弥生体験、情報提供もお待ちしています。

2 アンギン編み その2

ミュージアムの体験水田で採れた稲の藁を緯糸に見立ててアンギン編みを実験。一つは藁をそのまま編み、もう一つは藁を叩いて柔らかくしてから編みました。そのまま編んだものは藁の太さによって隙間が生じ、「葦簀」のような見た目。一方藁を叩いてから編んだものは編み目が詰まって、敷物にもできそうな雰囲気でした。用途によって使い分けをしていたのかもしれない。



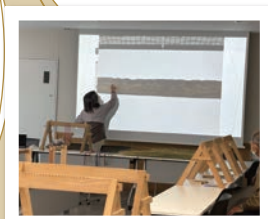
藁をそのまま編んだもの



藁を叩いて編んだもの

1 アンギン編み その1

縄文時代から続く布の編み方「アンギン編み」をおもてなしムラ人と一緒に体験しました。緯糸と経糸をからませる編み方をもじり編みと言います。編み機に架けてある経糸を交差させるのに苦労する方もいれば、すいすいと編んでいく方も。弥生人も、ものづくりの得意不得意があったのでしょうか。



編みの歴史についてミニ講義をしている様子



アンギン編み体験の様子

みんなの こえ



来館者の皆さまからたくさんのご意見、ご感想、よろこびの声をいただいています。その一部を紹介します。

西区に住んでいますが、こんな近くに有名な遺跡があると知らず、遠方の遺跡ばかり巡っていました。実際に出土したのが見られるなんてすごいですね。(愛知県・男性)



遺跡巡りが趣味であちこち訪れていますが朝日遺跡は初めて来ました。すばらしいミュージアムですね。人骨や貝層標本もよかったです。(愛知県・ご夫婦)



いろんな博物館や施設はありますが、こちらのミュージアムは対応がていねいですがんばってますね。重要文化財もたくさんあってすばらしいですね。(奈良県・男性)



火起こし体験目当てで岐阜から来ました。展示を見ながらのクイズラリーもキッズ考古ラボのハンズオンや衣装体験もたのしかったのでまた来ます!(岐阜県・女性)



子どもが「せっかくなからクイズを全部やりたい」と言ったので家族みんなでクイズラリーを楽しむことができました。思ったより長居してしまいました。(京都府・ご家族)

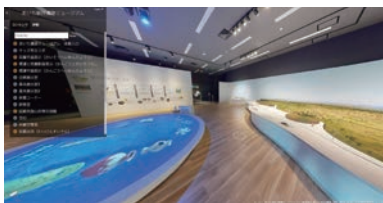


愛知県内に住んでいますが、テレビを見て朝日遺跡を初めて知った。きれいな文様の土器や精巧なジオラマがあり感激しました。もっと知られてほしいですね。(愛知県・男性)



あいち朝日遺跡ミュージアムの情報は 公式WEBサイトやSNSをご覧ください! 随時発信中です。

公式WEBサイト



<https://aichi-asahi.jp/>

企画展やイベントの開催概要、講演会・講座の申し込み、学校・団体観覧の事前申込、バーチャルオンラインツアーなどご覧いただけます。

SNS(X,instagram,Facebook等)



ミュージアムからのお知らせ、日々のつぶやきを投稿しています。フォローよろしくおねがいします。

<https://x.com/AichiAsahiSite>

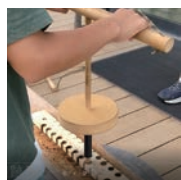


写真映える情報を中心に投稿しています。1日限りのショート動画などもお見逃しなく。

<https://www.instagram.com/aichi-asahisite/>



受付中の講演会・講座の応募、団体申込みも公式WEBサイトからならお好きなタイミングで応募ができて便利。



月替わりの古代体験プログラムのメニューや、イベント告知などもチェックしてみてください。



あいち朝日遺跡ミュージアムでは、公式LINEアカウント、TikTokもスタートしています。さらにYouTube公式アカウントでは講演会・講座も来られない方のためにライブ配信に対応していきます(講師相談の上)。あなたのフォロー可能なプラットフォームであいち朝日遺跡ミュージアムの情報をご覧ください。